

涼しい秋はハブ咬症注意報!

毎年9月~11月はハブ咬症防止運動月間です

沖縄県には、猛毒を持つハブが生息しています。2000年以降、ハブ咬症による死亡者は、確認されていませんが、未だ住宅敷地内でのハブの目撃・咬症事故が報告されています。昨年度、市内のハブ捕獲数は64匹で、ハブによる咬症は3件でした。

ハブ咬症防止運動は、広く市民のみなさまに対し、ハブ咬症についての注意を喚起し、草刈り、餌となるネズミの駆除等の環境整備を呼びかけ、ハブが生息・侵入しにくい環境を整えることにより、ハブによる被害を未然に防止することを目的としています。

■ 那覇市のハブ対策

*ハブトラップ(捕獲器)の設置

ハブを目撃したが逃げた等の場合には、ハブトラップを設置し捕獲に努めます。



ハブトラップで捕獲されたハブ▲

*ハブの棲みかとなる穴をふさぐ

ハブの棲みかとなる穴をふさぐ時、セメントや砂などの原材料を支給しています。

*処置法の講習会

市ではハブに咬まれたときの応急処置法を教えています。

*治療費助成

市ではハブに咬まれたときの治療費を1万円まで助成します。

■ ハブ対策として

ハブが生息しにくい環境を整備することが重要です。

- 敷地内の草刈り、廃品等の不要な物があれば片付けを行い、うす暗い場所や隠れ場所を無くす。
- 餌となるネズミ等を駆除する。
- 棲みかとなる穴をふさぐ。
- ハブがいそうな草むら等に入って遊ばないようにする。
- 夜暗い道を歩く時には、かい中電灯を使用する。

■ ハブにかまれたら

- ・あわてずに、ハブかどうかを確かめます(2本の牙は生え替わり時には4本あるため、咬まれた牙の痕は1~4か所あります。咬まれた場合には、5分もしないうちに腫れてすごく痛みます)
- ・ハブだとわかったら、大声で助けを求め車で病院へ連れて行ってもらいましょう(走ると毒の回りが早くなるので、ゆっくり歩くようにしましょう)
- ・傷口から血といっしょに毒を吸い出します(専用の吸引機がありますが、無いときは口で吸い出してください。また、毒は飲み込んで、胃の中で消化分解されるので心配はありません。)
- ・病院まで時間がかかる場合には、指が1本とおる程度にゆるくしばります。また15分に1回はゆるめましょう。

■ ハブの生態について

ハブは夜行性です。高温に弱く直射日光下では短時間で死にます。昼間は穴の中などに隠れ、薄暗くなってから活動を開始し、特に湿度が高く暖かい夜は活発に活動します。主に林や草地に生息します。棲みかとして餌(ネズミ類)があればハブもいる可能性があります。目撃は林や草地から50m以内に集中しています。

沖縄県内での咬症は例年秋に最も多く、次いで初夏に多くなります。



※写真は那覇市内で捕獲されたハブですが、ハブは個体・脱皮の状態によっては色や模様異なります。※ヘビの抜け殻を見かけましたら環境衛生課へお問い合わせください。抜け殻からハブか他のヘビか特定ができます。

お問い合わせ

環境衛生課 ☎951-1530
 ハブを見つけたとき ☎110
 ハブに咬まれたとき ☎119

ハブのほんとう

- ◇沖縄に生息するヘビは冬眠しません。
- ◇音が聞こえません。
- ◇アカマタがいるところにもハブはいます。
- ◇ジャンプできません。1.5m以上離れば攻撃範囲外です。
- ◇車で轢いたり、たたいて大けがをさせたハブはやがて死にます。
- ◇人が近づいても逃げない場合がありますが、人を追いかけません。
- ◇ハブは硫黄やホウセンカを嫌いません。

ハイサイ! 街角インタビュー

50年ぶり首里高校優勝

大田 青和さん(首里高3年)
 (女子バレー部・主将)

首里高校3年生で女子バレーボール部のキャプテンをつとめる大田青和さん(17)。「3年生は、勉強との両立が大変なのは?」と尋ねると、「進学校だし、練習環境も十分でない中、どれだけ内容の濃い練習ができるかを部員とうして話し合っていました。時には意見が合わずぶつかり合うこともありました。練習がひとりで終わると、優勝に近づいたと話して、総体で敗れた悔しさと、監督への恩返しを胸に、悔いの残らない試合をしたい」と意気込みを語りました。首里女子ファイター!!

環境トピック エコドライブでエコライフを始めよう

11月は「エコドライブ推進月間」です。

今、地球は温暖化が進んでいて、その大きな原因となるのが、二酸化炭素の排出です。県の二酸化炭素の排出量のうち、3割を占めるのが、自動車や船舶などの運輸部門で、そのうちの42%が自家用車から出されるものです。

この自家用車からの二酸化炭素排出量をいかに減らすかが非常に重要で、さまざまな取り組みが行われていますが、その一つにエコドライブがあります。エコドライブとは、環境にやさしく無駄のない自動車の使用のことです。みなさんは「エコドライブ」を「ゆっくり走る」と思っていますか? また、「エコドライブ」を実践している人の中には、「周囲に迷惑をかけている」と思っている人もいます。エコドライブは「エコドライブ」の基本的なことから始めましょう。車は、発進、巡航、減速、停止の4つの走行形態(モード)を繰り返しながら走行しています。その形態ごとに適切な運転をすることで二酸化炭素の排出量の削減や、燃費向上につながります。

エコドライブを実践できれば、走行距離1万キロでおよそ1万8000円分のガソリン節約につながるといいます。エコドライブは誰でも手軽に行えて、しかもお財布にも優しく、安全運転にもつながります。みなさんも普段の運転に、「エコドライブ」を取り入れ、エコライフを始めませんか?

停止	減速	巡航	発進
駐車場などで停車している間は、なるべくエンジンを切る(アイドリングストップ)	停止位置が分かっていたら、早めにアクセルから足を離して減速	前の車との車間距離を十分にとり、一定の速度を保つ	普通の発進より少し穏やかに発進する(最初の5秒で時速20kmが目安)

部門別排出割合

運輸部門内の排出割合

沖縄県文化環境部環境政策課「ちゅら島が危ない!」2005年より

エコドライブ教習が行われました!!

10月11日(金)那覇市地球温暖化対策協議会の主催により企業社員を対象にしたエコドライブ講習会が行われました。講習会で、普段通りに車を運転し、講義を受けた後、インストラクターからエコドライブを指導してもらいました。

エコドライブというと、のろのろ運転で、周囲に迷惑をかけるようなイメージがありがたか、実践してみると、適切な速度でゆとりをもった安全な運転ができました。教習では、坂道を下る際にはニュートラルではなく、ドライブモードが良いということも知り、実際に車に乗ってエコドライブを体験するデモンストレーション走行では、発進時におだやかにアクセルを踏む操作が難しいと感じました。これからは、教習で学んだことを生かしていきたいと思えます。

高橋 康子さん